おねっぽっぽを開催

家内安全　厄よけ祈願

１月７日（木）午前９時から、（旧）下田南小学校グラウンドで、地域づくり部会をリーダーに、鬼火焼を開催しました。昨年は準備していたやぐらが強雨で倒れたために、今年は当日の朝やぐらを組みました。午前９時に年男の上野覓利さんが火入れをされて、門松やしめ飾り、神仏に供えた餅や松竹梅などを燃やし、魔除けになる松の枝をこがし、今年１年の家内安全と健康を祈願し、最後は浜崎登美子さん手作りの美味しいぜんざい、お神酒をいただき楽しく過しました。

（参加者は大人43人子供４人）

【中上初穂】

地域の皆様に感謝

明けましておめでとうございます。日頃より老人会活動につきましては地域の皆様方より多大の御支援と御協力を賜りましてありがとうございます。

さて、私たち老人会では今年度二回目の廃品回収を一月二十日に実施致し、今回も地域の皆様方の御協力によりまして空カン、空ビン、古新聞、雑誌、ダンボール等をたくさん回収することができました。妙見老人会では平成二十五年度より年二回の資源物回収活動を実施していますが、毎年地域の皆様方の御協力によりまして目標を達成することができ、会の運営活動費の一部として活用しています。また来年も継続して実施していきたいと思いますので御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げ地域の皆様方に感謝と御礼の御挨拶と致します。

【妙見老人会　濱﨑一芳】

中学校生活での思い出

私が中学校生活での思い出に残っているのは、文化祭です。初めて大役を任されて、とても緊張しましたが、おおきな自身がつき少しずつ成長しました。今まで友達だった二人とも離れてしまいますが、下田南小最後の卒業生として思い出に残して高校でも頑張ります。地域の皆様お世話になりました。

上野　真彩

中学校では最高の仲間と充実した３年間を過ごすことができました。これから、高校に進学して、将来の夢を実現できるようにがんばります。たくさんの人に支えられてここまで成長することができました。

高校では将来の夢に向けて、勉強をしっかりと頑張っていきたいです。

栫山　美幸

佃　歩佳

下田南の大雪（雪だるま）

１月23日から25日にかけて強い冬型の気圧配置となり、九州北部約１５００メートル上空は氷点下15度以下の寒気が流れ込んだため、天草地方も23日夜から断続的に雪きが降り、25日朝には15㎝～20㎝の積雪が観測されました。下田南も50年ぶりの大雪で、つららも見ることができました。

自主防災会シリーズ④

２月９日、天草市自主防災組織リーダー養成「講演会」を受講しました。

先ず、中村市長のご挨拶があり、１月24・25日の50数年ぶりの大雪、水道管が凍結し破損、漏水で水道料金の減免の説明がありました。市も想定外の被害だったそうです。その後、熊本県危機管理防災課の有浦隆氏、堤正治氏が講演されました。

要点は次の通りです。

① 防災の本質は、予防にあります。
② 災害が発生した時、被害の拡大を防ぐために、自助、共助、公助が必要ですが、最も大切なことは自助（自分の生命は自分で守るという意識と行動）です。
③ 人は「正常化の偏見」（異常と感じても大丈夫と考える）を持っていて避難しない癖があります。
④ 危ないと思ったら、明るいうちに安全な場所に非難することが大事です。
⑤ 地域の行事と連携して自主防災活動（訓練や状況の確認など）を工夫しましょう。
⑥ 「津波てんでんこ」は、大地震がきたら、一刻も早くめいめいが高台に逃げろと言う、三陸地方に伝わる言葉です。日頃から家庭や学校、職場などで話し合い、訓練をしておくことが重要です。

【防災班長　中村昭廣】

日本の宝島“天草”づくり講演会

２月11日（木）栖本福祉会館において開催されました。講師は（株）リレイションの祁答院弘智氏で徳島県神山町を中心に活躍されています。神山町は果実の生産が盛んで、スダチは徳島県内の生産量の24％を占め日本一だそうです。また、地上デジタル放送難視聴対策の一環として町内全域に光回線網が整備されています。

天草でも移住・定住促進に取り組んでいますが、神山町では「人だけでなく仕事も一緒に」きて欲しいとの考えで、ＮＰＯ法人「グリーンバレー」が移住支援事業などを行い移住希望者に優先順位をつけて空き家などを紹介し定住化を図っているそうです。

２０１０年にクラウド名刺管理サービスのベンチャー企業が初めて古民家をオフィスとしたのをはじめＩＴ企業のサテライトオフィスや芸術家などが集い、町の新たな活性化につながっているようです。

２０１１年から人口が増えているそうですが、仕事も一緒に移ってきて頂く神山町の取り組みは素晴らしいと思いました。

【中村敏司】

小田床面「白方言」シリーズ③

今回は季節の珍味

①たーろんべ
一月の寒い朝、軒下に下がっとりました、たーろんべ。小豆の缶詰を開けて氷あずきして食うてみました。きさなしか？腹は痛うならんかったです。

②ぼうずぎっちょう
二月の末、じんべえ川の地蔵様の付近でぼうずぎっちょうが頭を出しとりました。直ぐに、近くのまめなか奥さんが上手に佃煮にして持ってきてくれました。ほろ苦さが昔の初恋の味と重なりました。

③ねったくり
誰が名付けたねったくり。からいもを炊いて正月の残りの漬け餅をいれて柔らかくなったらすりこぎで潰しまぜくる。きな粉とさあとうばかければ客人にも出せる上等な、こびるばな。

④どうはつせん豆腐
ごしょくさまの時
ある家で食べました
真白でなめらかな舌ざわり。
精進料理の王さま！

【白石宣子】

下田南のデータ・・・93世帯（男84人、女114人）高齢化率（65歳以上）80人　40.4％　2月29日現在